

公 民 [現代社会 倫理 政治・経済] (100点 / 60分)

この問題冊子には、「現代社会」「倫理」「政治・経済」の3科目を掲載しています。解答する科目を間違えないよう選択しなさい。

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。
- 3 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

| 出 題 科 目 | ペ ー ジ | 選 択 方 法 |
|---------|-------|---------------------------|
| 現 代 社 会 | 4～33 | 左の3科目のうちから1科目を選択し、解答しなさい。 |
| 倫 理 | 34～61 | |
| 政 治・経 済 | 62～91 | |

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 受験番号欄

受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄、試験場コード欄

氏名・フリガナ及び試験場コード(数字)を記入しなさい。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目の下の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

裏表紙に続く。

- 6 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

| |
|----|
| 10 |
|----|

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

| 解答番号 | 解 答 欄 |
|------|---------------------|
| 1 0 | ① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ |

- 7 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 8 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

倫 理

(解答番号 ~)

第1問 次の文章を読み、下の問い(問1～3)に答えよ。(配点 8)

人はなぜ働くのだろうか。確かに、働いて経済的に自立することは、生きていくために必要なことである。しかし、働くことには別の側面もある。私たちは働くことを通じて、他者に関わり^{かか}他者から認められ、生きがいや働きがいを見つけ出していく。働くことは、㉔ 自我同一性の確立や、自分の人生を形づくっていくことと深く関わっているのである。

若者にとって、社会に出る前に、人生を左右する大きな選択をすることは決して容易ではない。迷いやためらいがあって当然だろう。実際、どのような職業を選択するかは、㉕ 青年期特有の悩みの一つとなっている。

近年、フリーターや就業後の早期離職など、若者の就業行動の変化が指摘されている。しかし、それを単に経済的観点からとらえるだけでは、㉖ 働くことの多様な意義を見失いかねない。むしろ今必要なのは、働くということを他者との関係性のなかに、また人生という長い時間のなかに、置き直して考えてみることではないだろうか。

問 1 下線部②に関して、発達心理学者のジェームズ・マーシアは、自我同一性の獲得の状態を、自分の可能性を模索し、迷い、苦闘する経験(「探索」と、実際に何かに積極的に関わり取り組んでいるか(「関与」という二つの観点から説明し、ア～エの四つに分けている。それを踏まえると、次のA～Dの進路・職業選択に関わる青年期の状況は、ア～エの四つの状態のどれにあてはまるか。その組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 1

- A 小さい頃^{ころ}から家業を継ぐことを期待され、他の選択肢を考えて悩むことなく、親の仕事の手伝いをしている。
- B 就職するか大学院に進むか悩んでいるが決めることができず、大学を卒業せずに留年することにした。
- C 将来の目標について考えたうえで法律に関わる仕事をしたいと思い、司法試験のための勉強をしている。
- D まだ将来について真剣に考えたことがなく、とりあえず目標もなくアルバイトで時間をつぶしている。

ア 同一性拡散：「探索」の経験がないか、以前経験したが今は「探索」しておらず、何にも「関与」していない状態

イ 早期完了：「探索」の経験がないが、何かに「関与」している状態

ウ モラトリアム：積極的に「探索」している最中だが、何にも「関与」していない状態

エ 同一性達成：積極的に「探索」した結果、何かに「関与」している状態

① A—ア B—イ C—エ D—ウ

② A—ア B—ウ C—イ D—エ

③ A—イ B—ア C—エ D—ウ

④ A—イ B—ウ C—エ D—ア

⑤ A—エ B—イ C—ウ D—ア

⑥ A—エ B—ウ C—イ D—ア

倫 理

問 2 下線部⑤に関連して、このような心理的な状態を分析した次の人物ア～エと、それぞれの人物が強調したキーワードA～Dの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 2

ア エリクソン

イ フランクル

ウ シュプラングァー

エ レヴィン

A 自我のめざめ

B 境界人

C 人生周期(ライフサイクル)

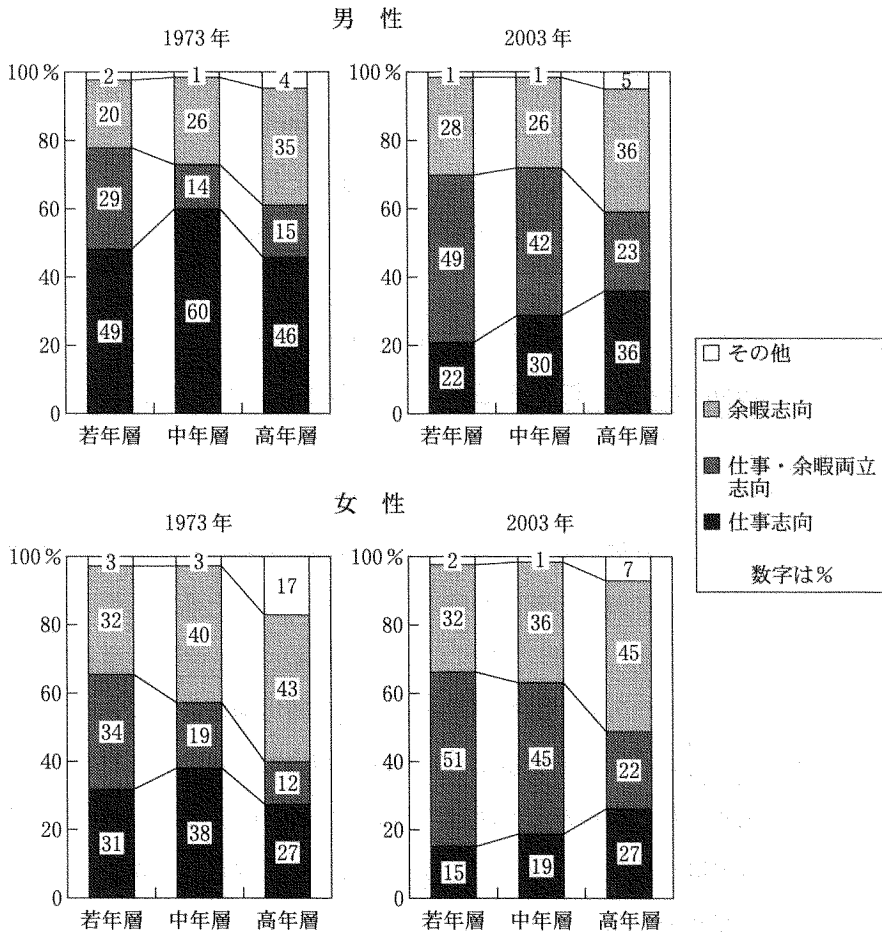
D 生きる意味

- ① アーA イーB ウーD エーC
② アーC イーD ウーA エーB
③ アーC イーA ウーD エーB
④ アーD イーC ウーB エーA

問 3 下線部③に関連して、次ページの図は仕事と余暇のあり方についての意識を、年層・性・調査年別で比較した調査結果である。この図から読み取れる結果として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① 1973年と2003年を比べると、「仕事・余暇両立志向」の割合については、男女ともにすべての年層で増加している。
- ② 1973年と2003年を比べると、「余暇志向」については、男性の若年層における増加率が一番高い。
- ③ 1973年と2003年のいずれも、男性よりも女性の方が「余暇志向」の割合が高く、「仕事志向」が低い。
- ④ 1973年と2003年を比べると、女性はすべての年層で、「仕事志向」の割合が増加している。

図 仕事と余暇のあり方についての意識(年層・性・調査年別)



NHK 放送文化研究所編『現代日本人の意識構造』(第6版)に基づき作成。

(注) 若年層(16~29歳), 中年層(30~59歳), 高年層(60歳以上)。小数点以下は四捨五入しているため、割合の合計は必ずしも100にならない。

倫理

第2問 次の文章を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24)

我々の人生は、突然の大事故や天災、思いがけない幸運などによって、大きく左右されることがある。そうした出来事が偶然の産物ではなく、あらかじめ定められた必然的な事態であると考えるとき、それは運命と呼ばれるのではないだろうか。ここでは、先人たちが残した思索の営みのなかに、現代の我々が運命について考える手がかりを探ってみたい。

ギリシア悲劇の主人公オイディプスは、自らの両親を不幸に陥れてしまうことを暗示する④デルフォイの神託を恐れ、その実現を避けようとしたにもかかわらず、結局果たせなかった。正義を貫いたために刑に服した古代中国の⑥司馬遷も、その著作『史記』で「天道は、是か非か」と疑問を呈している。確かに、運命が人間にとってときに抗し難いものであることは事実であろう。

しかし、運命が常に我々の意志や努力と無関係なものと考えられてきたわけではない。イスラームでは、この世のすべての出来事は③アッラーの意志によるとされるが、それを信じ受け入れつつも宗教的義務の実践に最善を尽くすことが求められる。また 4 を説く旧約聖書では、^{けいけん}敬虔で潔白な人物であるヨブが、ヤハウエの意志に由来する数々の理不尽な試練に遭遇し、苦悩する。しかしそれでも信仰を捨てなかったヨブは、最後に①神からの祝福を受けるに至るのである。

さらには、我々の行為そのものが運命を形成するという立場もある。輪廻を前提とする古代インド思想においては、現世における境遇の善し悪しは、前世での自らの⑤業(カルマ)に起因すると考えられている。しかしこのことは逆に、現世での業が来世での運命を切り開いていくことをも意味する。それだけではなく、苦しみの多い輪廻それ自体からの解放も、②自らが実践する修行を通じて可能になるとされていた。例えば初期仏教では、輪廻に伴う苦しみの原因を分析し、かつ平安の境地である涅槃に到達するための実践を説く 5 が教えの中心をなしている。

自分ではどうすることもできないと思われる出来事が、人生にはしばしば訪れる。しかし我々には、そうした出来事を引き受けつつ、運命と自分の意志や努力との関係について考え続ける自由が与えられている。そのことに気づいたとき、運命を巡る先人の思索と真に出会うための舞台は、すでに整っているのである。

問 1 文章中の ・ に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

{ ① メシアの復活 ② 使徒の福音
 ③ 神との契約 ④ 山上の垂訓(説教)

{ ① 三 密 ② 四 諦
 ③ 五 蘊 ④ 六 道

問 2 下線部②に関して、ソクラテスの人生は、彼の友人から伝え聞いたデルフォイの神託によって決定づけられたと言われている。その神託の内容として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ただ生きるのではなく善く生きよ。
- ② 徳は知にほかならない。
- ③ おのれの無知を自覚せよ。
- ④ ソクラテス以上の知者はいない。

問 3 下線部③に関連して、司馬遷も伝記を書いている思想家に老子がいる。老子が説いた道についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 道とは人間の従うべき道徳の規範であり、忠恕に基づいた礼の実践により体得されるものである。
- ② 道とは万物を生育する根源であり、絶えず移り変わる人間の幸不幸を超えた絶対的なものである。
- ③ 道とは万物を貫いている理法のことであり、天から我々に授けられた生まれながらの本性でもある。
- ④ 道とは差別がなく万物が齊^{ひと}しい境地であり、自己の心身を忘れ去ることで体得されるものである。

倫 理

問 4 下線部㉔に関する記述として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

| |
|---|
| 8 |
|---|

- ① アッラーの意志を示すものであるクルアーン(コーラン)は、結婚や遺産相続などの生活上の規範も説いている。
- ② アッラーの意志はムハンマドを通じて人間に伝えられたが、ムハンマドにそれを仲介したのは天使だとされる。
- ③ ユダヤ教とキリスト教の聖典はアッラーの意志を示すものではないため、イスラームの聖典とは認められない。
- ④ ムスリムは、「アッラーの意志に従う者」を指し、民族の違いにかかわらず平等に信徒として認められている。

問 5 下線部㉕に関連して、アウグスティヌスが説いた、神と人間との関わり^{かが}についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

| |
|---|
| 9 |
|---|

- ① 我々は自らの原罪を克服しようと努めるべきであり、その努力に応じた神の恩寵によってのみ救済される。
- ② 我々は神の無償の愛によってのみ救済されるのであり、原罪のゆえに自ら善をなす自由を欠いている。
- ③ 我々は神のロゴスにより創造されているため、そのロゴスに従うよう努めることによってのみ救済される。
- ④ 我々は神の律法を遵守することによってのみ救済されるが、その律法を破ったならば神の罰を受ける。

問 6 下線部㉔に関して、ゴータマ・ブッダが説いたとされる次の文章では、現世での境遇と業の関係についても述べられている。その趣旨に合致する記述として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 10

ヴェーダ^{どくじゆしや}読誦者の家に生まれ、ヴェーダの文句に親しむバラモンたちも、しばしば悪い行為を行っているのが見られる。そうすれば、現世においては非難せられ、来世においては悪いところに生まれる。(身分の高い)生まれも、かれらが悪いところに生まれまた非難されるのを防ぐことはできない。生まれによって賤^{いや}しい人となるのではない。生まれによってバラモンとなるのでもない。行為によって賤しい人ともなり、行為によってバラモンともなる。

(『スッタニパータ』)

- ① 現世での境遇は現世での生まれのみによって決定され、現世での行為は来世での境遇に影響を与える。
- ② 現世での境遇は現世での行為により影響を受けるが、現世での行為は来世での境遇に影響を与えない。
- ③ 現世での境遇は現世での生まれによって決定されることはなく、現世での行為により影響されることもない。
- ④ 現世での境遇は現世での生まれのみによっては決定されず、現世での行為は現世と来世での境遇に影響する。

倫理

問 7 下線部①に関して、インドの宗教的実践についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① ウパニシャッドでは、苦行や禁欲の実践を通じて、苦悩を生み出す原因である三毒を抑制することが勧められている。
- ② 初期仏教とジャイナ教では、不殺生をはじめとする戒律を守ることによって、欲望に囚われない境地を目指した。
- ③ ヨーガとは、初期仏教に起源をもつ、精神を統一するための修行法であり、禅宗の坐禅の原型ともなった。
- ④ 大乘仏教では、正しい見解や思惟などの六つの徳目を守ることにより、生きとし生けるものの救済を目指した。

問 8 本文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① この世において起こる出来事は、本来自らの行為に起因しているので、自らの行為を省みて運命を意志的に変えていくための努力の仕方を、先人たちから学びとるべきである。
- ② 人生には思いがけない出来事が起こるが、そうした出来事が本来自らの意志や努力を超えたものかどうか主体的に省察するための指針を、先人たちから学びとるべきである。
- ③ 自分ではどうすることもできないと思われる出来事は、本来個人の意志や努力を超えているので、運命を受け入れて生きるための規範を、先人たちから学びとるべきである。
- ④ 個人の意志や努力を超えて訪れる出来事は、幸福や不幸という相対的な観念を生み出すので、それらの観念を超越したものについての思想を、先人たちから学びとるべきである。

(下書き用紙)

倫理の試験問題は次に続く。

倫理

第3問 次の文章を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24)

複雑な現代社会では、自己を見失わずにいることは難しい。そこから自尊心の必要性がしばしば主張されるが、いったい私たちにとってのあるべき自尊とはどのようなものなのだろうか。ここでは自尊がかつてどのようなものであったか、日本の思想史を振り返って考えてみよう。

㉑ 平安時代末期の武士を描いた『保元物語』には、武士が戦場で大音声で名告りをあげる様が描かれている。これは命をかけて自己の存在を誇示する行為であり、そこでは自らの主君、先祖、味方だけでなく、敵の存在も視野に入れられていた。彼らは敵同士でありながら、あえて名告り合うことによって、互いの存在を認め合おうとしたのである。この㉒ 武士の名告りには自尊の古い形が見てとれる。

江戸時代になると、戦場での自尊の気風は、死闘の否定を通じて反省され、仕立て直されていった。戦国武士のあり方を批判して、儒教倫理に基づく土道を主張した 13 はその一例である。また山本常朝の『葉隠』は、忠君と死の覚悟を強調する書とみなされがちだが、実際には日常の細やかな人間関係の作法が多く説かれ、㉓ 日々出会う相手に対し、常に敬意を保って振る舞うべきことが語られている。さらにその実践のため、自らの㉔ 精神修養が重視されてもいる。自己を磨くことにより、互いに馴れ合うことなく、相手を尊重し合おうとしたのである。

近代になると、武士階級の消滅に伴って、自尊は西洋由来の㉕ 個人主義と結びついた形で現れてくる。「門閥制度は親の敵でござる」と語り、古い身分制度を嫌った福沢諭吉は、日本人が西洋から学ぶべきものは 14 の精神であるとした。福沢はそれと同時に自尊を強調したが、この自尊が「人を蔑視し、人に無礼して自ら名誉なりと認め」るような、他者への配慮を欠いたものとなることを戒めた。福沢は、人間には天賦の尊厳が具わっているとし、そうした他者を認めつつ、自ら学問し自ら律することによって、真の㉖ 自尊が可能になると考えたのである。

以上のように、自尊は、他者への配慮と表裏一体の生き方へと深められてきたものであり、闊雲な他者の否定や他者への無関心ではなく、また単なる高慢でもない。このことは、現代に生きる私たちが自分自身の問題として自尊を模索していくうえで、一つの手がかりを与えてくれるのではないだろうか。

問 1 文章中の 13 ・ 14 に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

- | | | | | |
|--|---|------------------|---|------------------|
| 13 | { | ① 藤原惺窩 ③ 新井白石 | { | ② 荻生徂徠 ④ 山鹿素行 |
| 14 | { | ① 騎士道 ③ 隣人愛 | { | ② 革 命 ④ 独 立 |

問 2 下線部①の頃ころに盛んとなり、当時の人々の信仰に影響を与えた本地垂迹説に関する説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

15

- ① 仏が仮に人となって日本の国土に現れるとする考え方
- ② 神が仮に仏となって日本の国土に現れるとする考え方
- ③ 仏が仮に神となって日本の国土に現れるとする考え方
- ④ 神が仮に人となって日本の国土に現れるとする考え方

問 3 下線部②に関連して、古代の「清き明き心(清明心)」以来の伝統をもつ、心情の純粹性を尊ぶ倫理観は、武士の生きる姿勢にも影響を与えてきたとされる。この倫理観について述べた言葉として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 正直の心こころを以て天皇朝廷すめらみかどを衆もろもろ 助け仕へ奉れ。
- ② 穢土えどを厭離おんりし、浄土ごんくを欣求す。
- ③ 人能く私心よを除く時は至大にして天地と同一体になるなり。
- ④ 至誠こころにして動かざる者未だ之れあらざるなり。

倫 理

問 4 下線部◎に関して、次の『葉隠』の文章を読み、その趣旨に合致する記述として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 17

意見の仕様、大いに骨を折ることなり。人の上の善悪を見出すは安き事なり。それを意見するも安き事なり。大かたは、人のすかぬ*云ひにくき事を云ふが親切の様に思ひ、それを請けねば、力に及ばざる事と云ふなり。何の益にも立たず。人に恥をかゝせ、悪口すると同じ事なり。我が胸はらし**に云ふまでなり。意見と云ふは、……先づよき処を褒め立て、気を引き立つ工夫を碎き、渴く時水呑む様に請け合せ、疵直るが意見なり。

*すかぬ：好まない。

**胸はらし：胸中に積もった思いを晴らすこと。鬱憤を晴らすこと。

- ① 相手に敬意をもつからこそ、相手への徹底的な配慮に基づき、相手が腹の底から納得するよう意見することが必要である。
- ② 相手に敬意をもつからこそ、相手が好むと好まざるとにかかわらず、相手の善悪について客観的に意見することが必要である。
- ③ 相手に敬意をもつからこそ、己が正しいと信じる善悪に従って意見し、それが通じなければ相手に見切りをつけることが必要である。
- ④ 相手に敬意をもつからこそ、己の立場と相手の立場とが折り合いのつく地点まで相互に意見し合うことが必要である。

問 5 下線部㉑を重んじた思想家の山崎闇斎に関する説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 上下定分の理を具体化した礼儀法度の厳守を説いて、徳川幕藩体制の身分制度の確立に貢献した。
- ② 居敬窮理の厳格な実践を説き、後に儒教の理と日本の神とを結合させた独自の神道説を唱えた。
- ③ 商人の職分の意義を説き、常に正直と儉約の心で商売に懸命に励むなら、利潤追求も正当な営みとなると唱えた。
- ④ 一君万民を唱えることによって幕藩体制に一石を投じ、私を滅して忠を尽くすべきことを説いた。

問 6 下線部㉒は夏目漱石の理解によればどのようなものであったか。それを表す記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① 真の利己心を発揮すれば、それが人類全体のためになるように人間はつくられている。そこにこそ人間の価値がある。
- ② 単なるエゴイズムは否定されるべきもので、自己の義務を自覚し、他人の自由をも認める者が、あるべき個人である。
- ③ 小なる自己が乗り越えられ、自己と世界が統一されることによって、独我論を超えた真の個人に到達することができる。
- ④ 古い思想や世間の常識をうち破り、宇宙・自然を我が身で直接感受することによって、自由な個人となることができる。

倫 理

問 7 下線部①に関連する次の文章中の ・ に入る人物の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

近代のキリスト教徒のなかには、自尊のよりどころを、いわゆる武士道精神に求めようとした者たちがいた。札幌農学校に学び、後に米国に渡ってフレンド派(クエーカー)の信仰のあり方に影響を受けた教育者である は、「武士道」の語を海外へ紹介した。彼のようなキリスト教指導者の多くが、武士道を精神的な基盤とし、そのうえにキリスト教の信仰を受け入れようとした。横浜の教会でキリスト教に入信し、東京神学社を創設して日本の神学界において指導的な役割を果たした もその一人である。彼らの考えた武士道は、実際にはどの時代の武士の実像にも対応しない独自のものではあったが、その後の武士に対する一般的なイメージに影響を与えた。

- ① ア 内村鑑三 イ 植村正久 ② ア 内村鑑三 イ 井上哲次郎
③ ア 新渡戸稲造 イ 植村正久 ④ ア 新渡戸稲造 イ 井上哲次郎

問 8 本文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 先人にとって自尊とは、他者と向き合いながら、傍若無人ではなく、しかも自己を十分に発揮しようとする生き方であった。私たちはここから、各自が自立しながら共存するための示唆を得ることができるだろう。
- ② 先人にとって自尊とは、他者と競い合うなかで、自己を勝利に導くことにより達成されるものと考えられてきた。私たちはここから、他者の敬意を得るために必要な条件は成功であることを学ぶことができるだろう。
- ③ 先人にとって自尊とは、他者との対立を避けて、孤高の精神性を求めるなかで自己を磨き高めようとする生き方であった。私たちはここから、社会の束縛を離れて自由に生きるための示唆を得ることができるだろう。
- ④ 先人にとって自尊とは、他者に同調しながら、自己の思いは秘めて守っていくことにより達成されるものと考えられてきた。私たちはここから、重んじられるべきものは調和であることを学ぶことができるだろう。

倫理

第4問 次の文章を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24)

こみあった電車の座席に腰かけていたら、すぐ目の前に、杖をついた老人が押し出されてきた。そんなとき、あなたならどうするだろうか。いろいろと迷う心のどこかで、やはり席を譲らねばならないのでは、と考える人も多いであろう。こうした「ねばならない」という気持ちは、一般に、どこから来るのか。自分の倫理観を見直してみるために、心の内に生じる道徳的な責務の由来をたずねよう。

知らん顔をして座り続ければ、確かに体は楽かもしれない。けれども、周囲の乗客に気兼ねして心苦しさを覚えるよりは、快く席を譲った方が、よほど気が楽だろうし、老人もまた楽に違いない。そこで、なるべく苦痛を減らし、快楽を増やすよう行動することによって、みんなの幸福を達成するのが正しいことだろう、と考えるなら、22の道徳説が導きだされる。

しかし、自分の快さを考えて席を譲るといふより、老人が気の毒に思えて席を譲る、という人もいるだろう。㉔人間には自分を中心にする心のほかに、他人を思いやる同情や共感の心があるので、おのずと席を譲りたくなる、というわけである。このように、想像のうちに他人の立場に身を置く共感が、公正な道徳の原理になって利己心との折り合いをつける、と考えるのが㉕道徳感情論の立場である。

これに対して、老人に共感するしないにかかわらず、23から席を譲らねばならない、と考える立場もある。こうした定言命法を重んじる人は、道徳性を共感のような感情にではなく㉖理性に帰する。誰しも善く生きようとする意志にもとづき、理性の立てる普遍的な道徳法則に従って行為する義務がある、というのである。これこそ㉗純粋な責務の道徳論と言ってよい。

以上のように、道徳的な責務の起源には、個人の快樂、他人との共感、理性の命令などが見いだせる。さらにまた、㉘崇高な無償の愛に駆り立てられて、貧者や病人への奉仕に一生を捧げる人々もいるであろう。しかし、いずれの場合も、それが正しいことだから、あるいは善いことだから、なぜ「ねばならない」という気になるのではないか。㉙内なる声に耳を澄ますとき、なぜ責務を果たすべきなのか、また何をなさねばならないのかが、より明確に理解されるようになる。そのことは、責務が自由な実践へと広がっていくきっかけともなるに違いない。

問 1 文章中の ・ に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

| | | | |
|---------------------------------|---|--------|--------|
| <input type="text" value="22"/> | { | ① 実用主義 | ② 実存主義 |
| | | ③ 功利主義 | ④ 禁欲主義 |

| | | | |
|---------------------------------|---|--------------|----------------|
| <input type="text" value="23"/> | { | ① 社会がそれを奨励する | ② 無条件にそうすべきである |
| | | ③ 思いやりは美德である | ④ それこそ本当の功德である |

問 2 下線部②に関連して、自己中心的な態度と共感的な態度とは、「他人」に対してのみならず「自然」に対しても考えられる。自然に対する人間の態度について述べた次の文章中の ～ に入る人名の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

は、事実から法則を導きだす方法を提唱して、「自然は服従することによらなくては征服されない」と言い、また は、精神と物体とを明確に区別しつつ、「我々を自然の所有者にして主人となしうような実践哲学」があると云って、人間中心主義の考えから自然の支配を正当化した。これに対して、人間を工作人(ホモ・ファーベル)と定義する は、「哲学者は自然を仲間として扱い、……服従も征服もせず、共感しようとする」と述べて、科学的な知性による過度の自然支配を批判した。

- | | | | |
|---|---------|--------|----------|
| ① | a ベーコン | b デカルト | c ベルクソン |
| ② | a ニュートン | b パスカル | c ホイジंगा |
| ③ | a ベーコン | b デカルト | c ホイジंगा |
| ④ | a ニュートン | b パスカル | c ベルクソン |

倫 理

問 3 下線部㉔の提唱者の一人としてアダム・スミスがいる。アダム・スミスの思想の記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 自然状態における善良な人間は、自己保存を求める自己愛と他人の不幸を憐れむ同情心とを具えていた。
- ② 共感という道徳的な感情が、利己心にもとづく各人の行動を内面から規制して、私益と公益との調和が図られる。
- ③ 純粋な愛としての他者への同情によって、現象の根底にある生への意志が弱まっていけば、苦悩から解脱できる。
- ④ 他者の気持ちを表情などから思いやる共感が、心理的な発達の基礎になって、友情や恋愛などの人間関係が生まれる。

問 4 下線部㉕に関連して、ホルクハイマーやアドルノは近代的な理性をどのように考えたか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 理性は、自然を客体化し、技術的に支配することを可能にする能力として、手段的・道具的なものである。
- ② 理性は、物事を正しく判断し、真と偽とを見分ける良識として、すべての人間に等しく与えられている。
- ③ 理性は、真の存在を捉えることができる人間の魂の一部分として、気概と欲望という他の二部分を統御する。
- ④ 理性は、人と人が対等の立場で自由に話し合い、合意を形成することができる能力として、対話的なものである。

問 5 下線部①はカントの立場であるが、これを形式的であると批判して、倫理の具体的内容を重視したのがヘーゲルである。ヘーゲルによるカント批判として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 責務を担う主体は、この私自身であるから、道徳は自己の実存^{かか}に関わる真理の次元で具体的に考える必要がある。
- ② 責務を果たす手段は、物質的なものであるから、道徳の具体的内容を精神のあり方から観念的に考えてはならない。
- ③ 責務を担う場面は、人間関係や社会制度と深く関わっているから、これらを通して道徳を具体化せねばならない。
- ④ 責務を果たす目的は、人々の幸福の具体的な増大にあるから、道徳的に重視すべきは行為の動機よりも結果である。

倫理

問 6 下線部㉔に関して、マザー・テレサのように率先して人類愛を実践する人物の行為は、義務行為・許容行為・禁止行為のいずれかに分類することが難しい。この種の特殊な行為について述べた次の文章中の A に入れるのに最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 28

「誰かがそれをしなくてはならない。けれども、どうして自分がそれをしななければならないのか」というのは、優柔不断な輩がいつも繰り返しかえす決まり文句である。「A」というのが、敢然と危険な任務に身を投じて、これにあたろうとする熱烈な人類の奉仕者の叫びである。この二つの言葉の間に、道徳の進化の全世紀が横たわっている。

(ウィリアム・ジェームズ『宗教的経験の諸相』)

- ① 誰もがそれをしてはならない。とはいえ、どうして自分もそれをしてはいけないのか
- ② 誰かがそれをしてもよい。とはいえ、どうして自分がそれをしななければならないのか
- ③ 誰もがそれをしなくてはならない。それなら、どうして自分だけそれをまぬがれうるのか
- ④ 誰かがそれをしなくてはならない。それなら、どうして自分がそれをしてはいけないのか

問 7 下線部㊦の「内なる声」は、「良心」と言い換えることもできる。良心についてのハイデッガーの見解として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 良心とは、他者に対する思いやりと倫理的な道理や義務とを具えた人間本来の心である。
- ② 良心とは、日常生活に埋没した画一的な自己を本来的な自己へと呼びさます、現存在の呼び声である。
- ③ 良心とは、「してはいけない」という守護神からの呼びかけで、悪を禁止する警告である。
- ④ 良心とは、社会的権威を内面化したもので、自我を監視し、欲望や衝動を抑制する超自我である。

問 8 本文の内容に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 理性の命令に由来する道徳的な責務は、自然の法則に従って必然的に、なさ「ねばならない」ことである。
- ② 崇高な愛に由来する道徳的な責務は、他人からの賞賛を求めて社会的に、なさ「ねばならない」ことである。
- ③ 個人の快楽に由来する道徳的な責務は、身体の欲求に任せて本能的に、なさ「ねばならない」ことである。
- ④ 他人との共感に由来する道徳的な責務は、自己の利害に囚われず自発的に、なさ「ねばならない」ことである。

倫理

第5問 次の文章を読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 20)

現代社会では、私たちは様々なことについて①「責任を負っている」と言われる。それはいったいどういうことなのか、ここで考えてみよう。

責任という言葉には、第一に、家族の一員や市民などの社会的な役割や権限に応じてなさねばならない義務という意味がある。第二に、ある個人の自由な選択や過失により何らかの悪い結果が生じた場合に、その人は良心の咎^{とが}めを感じ謝罪し、償いをすべきだという意味がある。

組織や集団の活動に目を向けると、責任の問題はより複雑になる。戦争や紛争、公害、薬害など大きな被害をもたらす事件や出来事の多くは、②国家や企業などの組織や集団によって引き起こされている。しかし、組織や集団の行動に、その構成員としての個人がどのように関与しているかは判断しにくい場合が多い。特に③官僚制にもとづく近代的な組織では、内部の各個人は、自分は制度のなかの単なる歯車にすぎないという無力さと不自由さを感じ、自分の権限や責任を自覚しにくくなる。このように、現代社会では、責任の所在が不明確になる傾向がある。

一方で、自分たちの役割と能力、そしてそれに伴う責任を自覚しようとする動きもある。第二次世界大戦後の④ラッセル-アインシュタイン宣言は、科学者には特別な社会的役割があり、彼らが集団として責任を負っていることの明確な自覚の現れである。また近年、私たち先進国の市民が⑤発展途上国の貧困や紛争に対して負っている責任が問われ続けている。さらに、⑥未来の人々に対して私たち現在の人間が負う責任や、地球全体に対して人類全体が負う責任が注目されている。

現代の私たちが、組織や集団に埋没し自分の責任を自覚しにくくなっていることは確かである。しかし、「責任を負う」という態度は、自分たちには、なすべき責務があり、世界を変える可能性と自由があるという信念を伴っているはずである。このことを理解すれば、⑦「人間は自由の刑に処せられている」というサルトルの有名な言葉が、人間の責任について多くの示唆を与えてくれることに気づかされるだろう。

問 1 下線部④に関して、本文の内容に即して次のア～エでの責任の用法をA～Dに分類した場合の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ア 看護師には、患者の健康を回復し、苦痛を緩和する責任がある。
- イ いじめを黙って見ていたクラス全体にも責任がある。
- ウ 先進国は世界の貧困国を援助する責任を負っている。
- エ 交通事故を起こした運転者は損害を賠償する責任を負っている。

- A 悪い結果についての個人の責任
- B 悪い結果についての集団の責任
- C 役割や能力に応じた個人の責任
- D 役割や能力に応じた集団の責任

- ① ア—A イ—B ウ—D エ—C
- ② ア—A イ—D ウ—B エ—C
- ③ ア—C イ—B ウ—D エ—A
- ④ ア—D イ—C ウ—A エ—B

倫理

問 2 下線部①に関連して、近年では公的機関や企業に倫理的振る舞いを求める考え方が広まり、不正行為や事故を防止する制度作りが進められている。このような取組に関する次の記述ア～ウについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 32

ア 企業が公害の予防に真剣に取り組むことを促すため、公害を発生させた企業は、汚染物質の除去費用に加え、損害の賠償や補償の費用を負担しなければならないという原則が定められている。

イ 公的機関や企業の構成員が、その組織の重大な不正や人々の生命に^{かか}るような危険を外部に通報することを公益通報と呼ぶが、現在では個人情報保護の観点から認められていない。

ウ アカウンタビリティ(説明責任)とは、行政機関や公務員が自らの判断や行為に関して、市民や国民が納得できるように説明する責任であり、近年は企業に対しても要求される傾向にある。

- ① ア 誤 イ 正 ウ 正
- ② ア 正 イ 正 ウ 誤
- ③ ア 誤 イ 誤 ウ 正
- ④ ア 正 イ 誤 ウ 誤
- ⑤ ア 誤 イ 正 ウ 誤
- ⑥ ア 正 イ 誤 ウ 正

問 3 下線部③に関して、ウェーバーが挙げた官僚制の特徴についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

① 組織の構成員の個性や自発性が重視され、その個性の多様な発展によって組織が積極的な活動を行うことが期待される。

② 組織の構成員の非専門性が特徴であり、非熟練労働者を効率的に利用することを目指している。

③ 組織の構成員は、個人的な感情や価値観をもちこまず、規則に従って効率的に仕事をこなすことを求められる。

④ 組織の構成員は通常、心理的な柔軟性をもたず、権威に依存しやすい性格の人々である。

問 4 下線部㉑の内容の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 自然科学が各国の人種差別的な政策の正当化に利用されたことを反省し、人種差別的な政策の世界的廃止を求めるものである。
- ② 科学者が核兵器の開発に深く関わってしまったことを反省し、紛争解決の手段としての戦争の放棄を各国に求めるものである。
- ③ 第二次世界大戦中の人体実験の悲惨な経験を踏まえ、科学者の行いを反省し、本人の同意のない人体実験の禁止を求めるものである。
- ④ 科学技術が地球環境に破壊をもたらすほど発展してしまっていることを踏まえ、科学技術者の反省的自覚を求めるものである。

問 5 下線部㉒に関連して、先進諸国の市民の責任を果たすために、各国政府の働きに加え、NGO(非政府組織)やNPO(非営利組織)の活動が期待されている。これらの組織の活動の説明として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① NGO・NPOの長所の一つは、市民が自分の関心と能力にもとづいて、募金や労働など様々な参加の仕方を選択できることにある。
- ② NGO・NPOは、参加者の善意にのみもとづく活動であり、参加者が金銭的な報酬を得ることは避けるべきであるとされている。
- ③ NGO・NPOは、ODA(政府開発援助)に比べ、規模は小さくても、地元住民の要求に沿ったきめ細かい支援を行うことができる。
- ④ NGO・NPOは、市民レベルでの活動であり、政府に頼らず一般市民の間にも地域社会や国際社会への関心を呼び起こすことができる。

倫理

問 6 下線部①に関連して、未来世代に対する責任の自覚と取組を説明するものとして適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① 「宇宙船地球号」という^{ひゆ}比喩は、その乗組員として人類が一体であり、閉じた環境としての地球の未来について責任を共有しているという意識の現れである。
- ② リオ宣言を採択した地球サミットでは、地球環境保護と長期的な経済的発展は両立しないものではなく、むしろ相互に補完的な関係にあることが確認された。
- ③ 京都会議では、経済の発展状況にかかわらず、全参加国に対して一律に温室効果ガスの排出削減を求めることが定められ、排出量取引などのメカニズムが認められた。
- ④ 「地球規模で考え、足元から行動を」という標語は、地球環境への人間の影響力を意識するからこそ、身近なことから改善を始めようという決意を表している。

問 7 下線部㉔に関して、本文全体の趣旨を踏まえた解釈として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 37

- ① 私たちはあらゆる生命に対する畏敬の念をもち続けねばならず、あらゆる生命を自分の生命と同様に守り続ける責任を負っていることの自覚を要求する言葉として理解できる。
- ② 人間は望むと望まないとにかかわらず常に他者から責任を課せられ、また非難され続けるという悲惨と、そのようなあり方をしている世界の不条理を表現した言葉として理解できる。
- ③ 客観的な道徳的基準が存在しないとされる世界に投げ出されている人間の不条理を描きつつ、しかし人間だけが自由であり、それに伴う責任を負うるという肯定的な言葉として理解できる。
- ④ 望むと望まないとにかかわらず自らに背負わされた自由と罪責を意識することで、超越者に向かう真の自己へと私たちが目覚めうることを指摘した言葉として理解できる。